JNJ-77242113 およびプラセボ群：16 週目の PSSD 症状スコアのベースラインからの変化
ベースラインおよび 16 週目
16 週目の PSSD 症状スコアのベースラインからの変化を報告する。PSSD には，治療効果を評価するために過去 7 日間の乾癬の症状及び徴候の重症度を測定するようデザインされた PRO 質問票が含まれる。PSSD は，0～10 の重症度数値評価スケールを用いて症状（そう痒，疼痛，刺痛感，灼熱感，皮膚のつっぱり感）及び患者が観察可能な徴候（皮膚の乾燥，ひび割れ，落屑，脱落又は剥離，発赤，出血）を網羅する 11 項目からなる自己記入式の PRO 質問票である。乾癬症状スコア及び乾癬徴候スコアの二つのサブスコアをそれぞれ 0～100 の範囲で算出する。スコアが高いほど重度であることを示す。

JNJ-77242113 およびプラセボグループ：16 週目の PSSD 徴候スコアのベースラインからの変化
ベースラインと 16 週目
ベースラインから Week16 までの PSSD 徴候スコアの変化を報告する。PSSD には，治療効果を評価するために過去 7 日間の乾癬の症状及び徴候の重症度を測定するようデザインされた PRO 質問票が含まれる。PSSD は，0～10 の重症度数値評価スケールを用いて症状（そう痒，疼痛，刺痛感，灼熱感，皮膚のつっぱり感）及び患者が観察可能な徴候（皮膚の乾燥，ひび割れ，落屑，脱落又は剥離，発赤，出血）を網羅する 11 項目からなる自己記入式の PRO 質問票である。乾癬症状スコア及び乾癬徴候スコアの二つのサブスコアをそれぞれ 0～100 の範囲で算出する。スコアが高いほど重度であることを示す。

JNJ-77242113 およびプラセボグループ：16 週目に PSSD 徴候スコアが 0 だった参加者の割合
16 週
16 週目の PSSD 徴候スコアが 0 だった参加者の割合を報告する。PSSD には，治療効果を評価するために過去 7 日間の乾癬の症状及び徴候の重症度を測定するようデザインされた PRO 質問票が含まれる。PSSD は，0～10 の重症度数値評価スケールを用いて症状（そう痒，疼痛，刺痛感，灼熱感，皮膚のつっぱり感）及び患者が観察可能な徴候（皮膚の乾燥，ひび割れ，落屑，脱落又は剥離，発赤，出血）を網羅する 11 項目からなる自己記入式の PRO 質問票である。乾癬症状スコア及び乾癬徴候スコアの二つのサブスコアをそれぞれ 0～100 の範囲で算出する。スコアが高いほど重度であることを示す。

JNJ-77242113 およびプラセボ群：16 週目に性器乾癬性頻度調査票(GenPs-SFQ)項目 2 のスコアが 0 または 1 を達成した参加者の割合
16 週
16 週目に GenPs-SFQ 項目 2 スコア 0 又は 1 を達成した参加者の割合を報告する。GenPs-SFQ は，過去 7 日間に生殖器乾癬が性的活動の頻度に及ぼした影響を評価するめに使用する，2 項目の参加者報告指標である。項目 1 では過去 7 日間全体の性的活動の頻度（なし/0 回，1 回，又は 2 回以上）を評価し，項目 2 では過去 7 日間に生殖器乾癬症状により性的活動が制限された頻度［なし（0），まれに（1），時々（2），しばしば（3），又は常に（4）］を評価する。

JNJ-77242113 およびプラセボグループ：16 週目に皮膚疾患特異的 QOL 尺度(DLQI)スコア 0 または 1 を達成した参加者の割合
16 週
16 週に DLQI スコア 0 又は 1 を達成した参加者の割合を報告する。DLQI は，参加者の HRQOL に対する疾患の影響を評価するために作成された皮膚疾患特異的
HRQOL 指標である。DLQI は，過去 1 週間の HRQOL を評価する 10 項目の質問票であり，HRQOL 全体の評価に加えて生活の質に影響を与える可能性がある 6 つの側面（症状・感情，日常活動，レジャー，仕事・学校，人間関係及び治療）の評価に用いることができる。総スコアは 0～30 であり，スコアが高いほど HRQOL への影響が大きいことを示す。

JNJ-77242113 およびプラセボグループ：16 週目の DLQI 総合スコアのベースラインからの変化
ベースライン及び 16 週
ベースラインから 16 週までの DLQI 総合スコアの変化量を報告する。DLQI は，参加者の HRQOL に対する疾患の影響を評価するために作成された皮膚疾患特異的 HRQOL 指標である。DLQI は，過去 1 週間の HRQOL を評価する 10 項目の質問票であり，HRQOL 全体の評価に加えて生活の質に影響を与える可能性がある 6 つの側面（症状・感情，日常活動，レジャー，仕事・学校，人間関係及び治療）の評価に用いることができる。総スコアは 0～30 であり，スコアが高いほど HRQOL への影響が大きいことを示す。

JNJ-77242113 およびプラセボグループ：16 週の Patient Reported Outcomes Measurement Information System-29（PROMIS-29）スコアのドメインスコアのベースラインからの変化量
ベースラインから 16 週
16 週の PROMIS-29 スコアのドメインスコアのベースラインからの変化量を報告する。PROMIS-29 は，29 項目の包括的な HRQOL 調査であり，7 つの PROMIS ドメイン（抑うつ，不安，身体機能，痛みによる妨害，疲れ，睡眠障害，社会的役割及び活動への参加能力）をそれぞれ 4 つの質問で評価する。質問は 5 段階リッカート尺度で評価される。また，痛みの強さを 0（痛みなし）から 10（考えられる最大の痛み）までの数値評価尺度もある。生のメインスコアは平均 50 点，標準偏差 10 点で標準化された T スコアに変換される。不安，抑うつ，疲労，睡眠障害，疼痛干渉のスコアが高いほど，症状が重いことを示す。身体機能と社会参加のスコアが高いほど，健康状態が良好であることを示す。

JNJ-77242113 およびデュークラバシチニブグループ：16 週および 24 週の DLQI スコアが 0 又は 1 になった参加者の割合
16 週および 24 週
16 週および 24 週の DLQI スコアが 0 又は 1 になった参加者の割合を報告する。DLQI は，参加者の HRQOL に対する疾患の影響を評価するために作成された皮膚疾患特異的 HRQOL 指標である。DLQI は，過去 1 週間の HRQOL を評価する 10 項目の質問票であり，HRQOL 全体の評価に加えて，生活の質に影響を与える

可能性がある 6 つの側面（症状・感情，日常活動，レジャー，仕事・学校，人間関係及び治療）の評価に用いることができる。総スコアは 0〜30 であり, スコアが高いほど HRQOL への影響が大きいことを示す。

JNJ-77242113 およびデュークラバシチニブグループ：16 週および 24 週に PSSD 症状スコアが 0 を達成した参加者の割合
16 週および 24 週
16 週および 24 週に PSSD 症状スコアが 0 を達成した参加者の割合を報告する。PSSD は，過去 7 日間の乾癬の症状及び徴候の重症度を測定し, 治療のベネフィットを評価できるように作成された PRO 質問票である。PSSD は症状（そう
痒，疼痛，刺痛感，灼熱感，皮膚のつっぱり感）及び参加者が観測可能な徴候（皮膚の乾燥，ひび割れ，鱗屑，落屑又は剥離，発赤，及び出血）を網羅する 11 項目を含む自己記入式の PRO 指標であり，重症度の評価には 0〜10 の数値評価尺度を用いる。乾癬症状スコアと乾癬徴候スコアの 2 つのサブスコア（それぞれ 0〜100）を求める。スコアが高いほど疾患が重度であることを示す。

24 週の PASI 75 でデュークラバシチニブに対するノンレスポンダーであった参加者において，24 週より後に PASI 75 の反応を達成した参加者の割合
ベースラインおよび 24 週から 156 週まで
24 週の PASI 75 でデュークラバシチニブに対するノンレスポンダーであった参加者において，24 週より後に PASI 75 の反応(PASI の 75%以上の改善）を達成した参加者の割合を報告する。PASI は，乾癬病変の重症度及び治療効果を評価及びグレード化を判定するために使用される。PASI では, 全身を頭部, 体幹, 上肢及び下肢の 4 つの領域に分ける。各領域について，紅斑，浸潤・肥厚及び鱗屑の重症度を 0〜4 点で評価すると指標であるともに，病変の範囲を 0〜6 点で評価する。PASI は，0〜72 点の数値スコアで示される。スコアが高いほど，疾患が重度であることを示す。

デュークラバシチニブ群で 24 週の IGA スコアが 2 以上であった参加者において，24 週より後の IGA スコアが 0 又は 1 の参加者の割合
24 週から 156 週まで
デュークラバシチニブ群で 24 週の IGA スコアが 2 以上であった参加者において，24 週より後の IGA スコアが 0 又は 1 の参加者の割合を報告する。IGA では，所定の時点での医師による乾癬の評価を記録する。病変全体の浸潤・肥厚,
紅斑及び鱗屑の重症度を判定する。乾癬をなし（0），軽微（1），軽度（2），中等度（3）又は高度（4）で評価する。